

マクロ経済学		講義	准教授 小松原 崇史	
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目, 会計ファイナン スコースの専門選択科目, 経営・経済コースの専門選 択科目, 教職科目		科目ナンバリング	23222201 25320218

### 1. 授業のねらい・概要

マクロ経済学についての基本的な考え方を説明します。各国の経済成長の可能性をさがることが、マクロ経済学の目指していることです。本科目の履修にあたっては、「経済学基礎」を履修済みであることが望ましいです。

### 2. 授業の進め方

講義形式で授業を行います。講義の理解を深めるため、問題演習を行うことがあります。なお、理解度に応じて、以下の授業計画を変更する可能性があります。

### 3. 授業計画

1. マクロ経済の鳥瞰図	9. 為替レートの決定
2. GDP (国内総生産)	10. 多様な為替レート指標
3. GDP で国の豊かさを測ることの問題点	11. 資産と為替レート
4. GDP と物価	12. 為替レートと貿易
5. 経済成長率	13. 為替レートと国内物価
6. GDP の分解	14. 為替レート変動とマクロ経済
7. GDP の三面等価	15. 後半のまとめと復習
8. 前半のまとめと復習	

### 4. 準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講後、その回の内容を復習してください。そのためには、毎週1, 2時間程度が必要です。

### 5. 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法

問題の解答を、試験終了後に掲示します。

### 6. 授業における学修の到達目標

目標は、マクロ経済学の基本的な考え方を、理解できるようになることです。

### 7. 成績評価の方法・基準

期末試験 (100%) によって、成績を評価します。

### 8. テキスト・参考文献

参考書として、伊藤元重著『マクロ経済学 第2版』(日本評論社, 2012年)を使用します。

### 9. 受講上の留意事項

私語を厳禁とします。守れない学生に対しては、直接注意を行い、改善が見られない場合には退出を求めます。

### 10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

## 11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。